

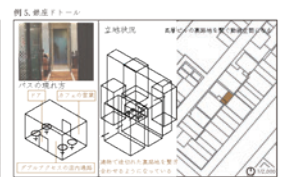
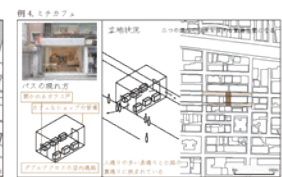
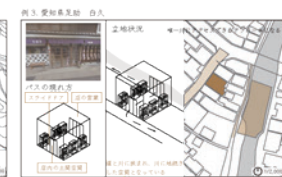
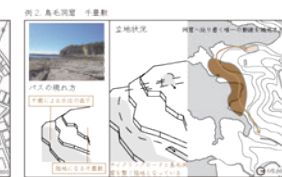
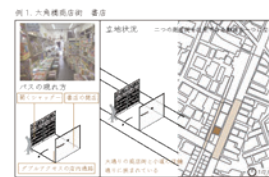
アナザーバスを有する建築 - 神奈川県足柄下郡真鶴町を対象として -

世の中には常時通れるわけではないが、特定の出来事により出現し街を連続させる空間がある。本計画では、そのような空間を「アナザーバス」と呼ぶ。アナザーバスは、時間や場所による制約ゆえの魅力があり、既存動線や地域資源に付随しそれらの価値を変えつつ、新しい地域構造や場所性を作り出している。

例えば、千疊敷のように干潮により出現し、街と洞窟を繋ぐ動線になり得ることで、千疊敷も洞窟も街の観光資源となっている。また、建築が有する

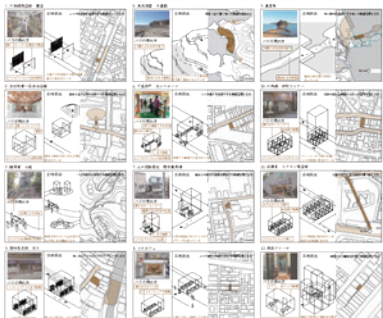
こともあり、書店やカフェなどのように店の間隔に伴い店内空間がアナザーバスとなる場合がある。この時、有する為のデザインが形態に影響しているが、有する建築の用途や機能、公私の領域、バスを出現させる空間形態は画一的である。

そこで本計画では、アナザーバスを有する建築の提案をすることで、構成要素や設計手法を提示し、有した場合の空間可能性や地域構造の在り方について追求する。

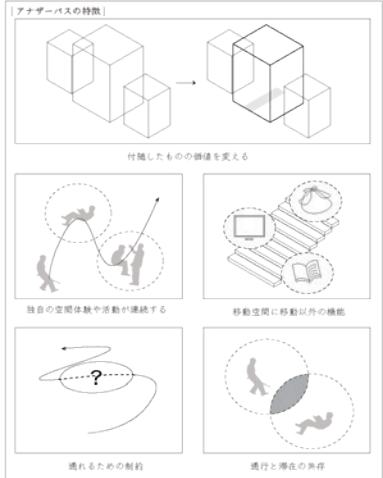


1. 仮説

1-1. アナザーパスの収集・分析



1-2. まとめ



Another Pass is a space that is used for activities and movement that are not related to the main function of the building. It is a space that is created by the user and is not planned by the architect. It is a space that is created by the user and is not planned by the architect.

[アナザーパスの構成]



Another Pass is a space that is used for activities and movement that are not related to the main function of the building. It is a space that is created by the user and is not planned by the architect. It is a space that is created by the user and is not planned by the architect.

2. 調査

2-1. 前提と調査項目

本調査では、より詳細な調査をもとに、アナザーパスの構成要素について仮説を立て、アナザーパスによる空間的価値は12の調査項目、パスのあり方を空間的価値の観点から2つの観点で分析した。

2-2. 対象地区 神奈川県足柄下郡真鶴町



3. 計画

[真鶴駅前通りエリア]

真鶴駅前通りエリアは、真鶴町の中心地であり、多くの人が通る重要な通りである。このエリアには、多くの店舗や施設があり、活気がある。



[旧真鶴銀座エリア]

旧真鶴銀座エリアは、真鶴町の歴史的な中心地であり、多くの人が通る重要な通りである。このエリアには、多くの店舗や施設があり、活気がある。



2-3. 調査①: 出来事と出来事を生む空間要素



2-4. 調査②: 動線空間や地域資源



2-5. 調査まとめ(計画エリアの選出)



4. 設計

4-1. 構成ダイアグラム



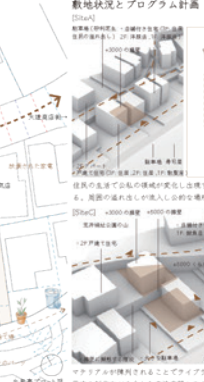
4-2. 出来事への構築



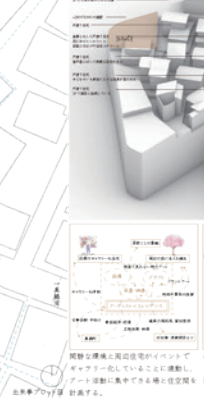
4-3. エリア間の共通ダイアグラム



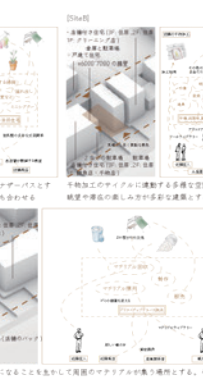
敷地状況とプログラム計画



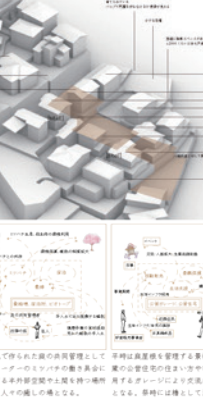
敷地状況とプログラム計画



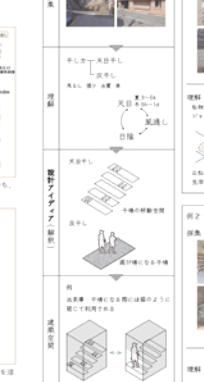
エリア1: 真鶴駅前通りエリア



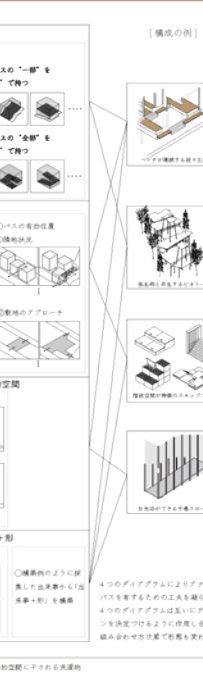
エリア2: 旧真鶴銀座エリア



エリア3: 真鶴駅前通りエリア



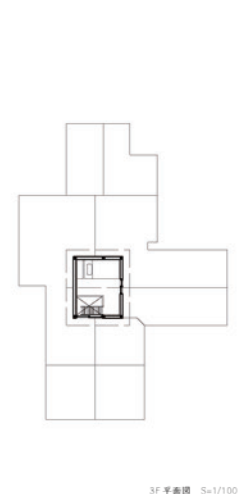
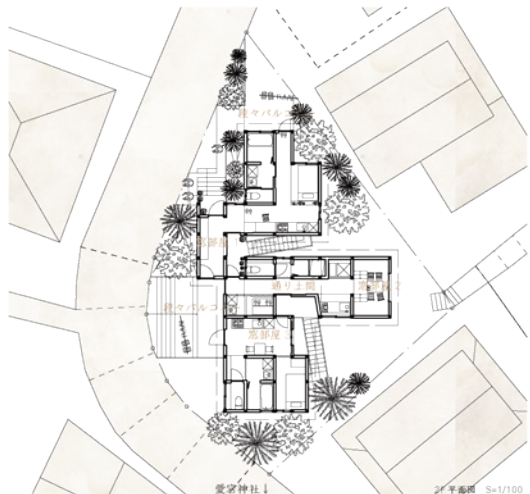
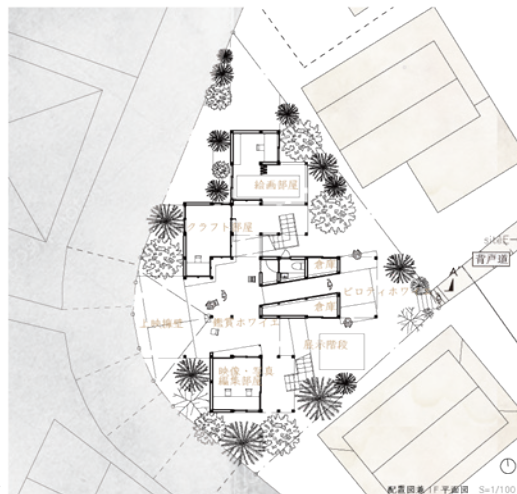
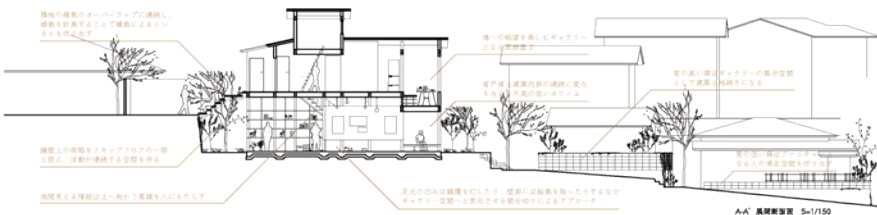
エリア4: 旧真鶴銀座エリア





siteD
 主たる美術室
 用途: アートスタジオ/レジデンス
 連携する公共事業
 地域に対する機能

メインフロアで居住空間とアトリエ空間により構成されることで、居住空間とアトリエ空間の両方を実現し、また、アトリエ空間の活用も可能となる。また、アトリエ空間の活用も可能となる。



siteE
 協働する多生物の住処
 用途: 農林産物 宿泊施設 ビオトープ
 連携する公共事業
 地域に対する機能

ミツバチの活動時間に応じて内外空間や内外空間の機能が変化することで、アトリエ空間が活用される。また、アトリエ空間の活用も可能となる。また、アトリエ空間の活用も可能となる。



siteF
 屋根になる庭屋根
 用途: 公営マンション 公共住宅
 地域に対する機能
 避難機能 防犯機能 目的機能
 連携する公共事業

住民の避難管理に連携して居住する防災拠点、避難に連携して居住する防災拠点としての機能を果たす。また、避難に連携して居住する防災拠点としての機能を果たす。また、避難に連携して居住する防災拠点としての機能を果たす。

